

同級生交歓



三重・伊勢 伊勢神宮宇治橋にて (撮影 本社・榎本麻美)

(右から) J.R.東海社長

松本正之

副社長兼事業部長

中谷武男

昭和鋼機取締役

中村洋

昭和パツケージ事務

満田照夫

ジェイアール東海コンサル 取締役

北井洋之

ICI社長

山内繁勝

我々は昭和三十五年に三重県立伊勢高校に入学した。伊勢高校は、伊勢神宮の内宮と外宮の中間に位置し、昭和三十一年に新設、一昨年五十周年を迎えた。我々はOB会では五期生と古参の部類である。

中村、北井、中谷、それに私は野球部員であった。中村君はスライダー、北井君はシュートが武器の両エース、中谷君は華麗な守備の二塁手、私はスラッガーの内野手であった。新設校の例で運動場がなく、ノンプログが使った後を借りて練習した。夏の

大会は芳しくなかったが、秋の県総合体育大会では優勝したこともあった。山内君は合唱部、途中A.F.Sで米留学。満田君は剣道部主力で大いに活躍した。

時が経ち、それぞれ写真にある姿に変身。商社会社に入った山内君は外国経験を生かし、外国語教育の会社「ICI」を設立経営、外国要人との人脈も多彩。北井君は、ゼネコンを経て現在、数多くの国家資格を生かしコンサルタント会社役員、ゴルフはシングル級。中村君はアルミサッシの会社で営業担当役員として顔も広く、柿右衛門の収集家としても一流。満田君は、工業用包装の専門メーカーで専務、全国を飛び回る傍ら、自宅で本格的な鉄道模型のジオラマ製作。中谷君は社長業を経て、現在は奥様のビジネスのサポートと趣味のテニス、バイオリンを楽しむ生活。私は、鉄道業に専念する一方、これまた伊勢高同窓の妻と旅行や観劇、ゴルフなど日々交歓。

十八歳という美しい青春時代を共にした仲間にはそれぞれの人生を忙しく歩んできたが、今、ゴルフや食事など当時と同じ間合いで熟年の交流を楽しんでいる。(松本)